



## 『モビリティ・マネジメント教育の取組へのねらいや期待』

【美作市立英田小学校第3学年担任 坂井 優介】

### 1 今年度のモビリティ・マネジメント教育への応募理由

昨年度、モビリティ・マネジメント教育の実施が決まっていたものの、新型コロナウイルス感染症拡大により校外での実施ができなかった。代替の活動として、予算を活用し、乗り物図鑑やDVD等を購入した。乗り物について調べたり、調べた乗り物をまとめて発表したりする活動を実施し、子どもたちは乗り物図鑑を使って、様々な乗り物について調べた。「せん水ていは初めて見たよ。」「新幹線は時速200km以上。すごく速い。」と、乗り物図鑑に興味津々で見ている様子であった。調べる過程で、自分たちの住んでいる地域の公共交通機関について触れた。「英田のあたりはあまりバスが走っていないよ。」「新幹線は速いけど、大きな町にしか止まってくれない。わたしたちの町には止まらないね。」と、わたしたちの地域と公共交通機関をつなげて考えることができた。学習を進めるに連れ、子どもたちの公共交通機関を利用してみたいという意欲も改めて増したようだった。

本校の所在地域の実態として、バスや電車等の比較的身近な公共交通機関に乗る機会は少ない。そこで、モビリティ・マネジメント教育を活用し、公共交通機関に触れる機会を作ることと、実際に利用することで、それぞれの公共交通機関の良さや、岡山県で公共交通機関を利用することの利便性に気づくことを目的として応募した。

### 2 今年度の取組のねらいについて

今年度の活動は、昨年度、校外での活動が叶わなかった4年生8人（男子5人女子3人）と、3年生13名（男子7人女子6人）による計21人と引率3人で実施する予定。

社会科の第3学年の内容は、身近な地域や市町村の様子を学習課題として取り上げ、その課題についてを追究・解決していく活動が中心である。その中には身近な地域の様子をとらえる一つの手がかりとして、公共交通の広がりに着目し、地域の主な道路や鉄道について調べる学習も含まれていると解釈している。

社会科の第4学年の内容は、県内の自然や産業、交通等の様子を学習の課題として取り上げ、その課題について追及・解決していく活動が中心である。その中に、県内の高速道路や鉄道等による交通網の広がりについて調べる活動も含まれていると解釈している。

上記の内容を踏まえ、内容とねらいや期待について述べる。

我が校は、岡山県北東部の美作市に位置し、校区の中に鉄道がなく、公共バスは運行しているものの本数が少なく、交通の便がよくないことが実態としてある。子どもたちは出かけるときには、主に家庭の自家用車を使い、公共の乗り物はほとんど利用しないのが現



状である。公共の乗り物に実際に乗車する体験的な活動をすることで、公共の乗り物が果たす役割や、そこで働く人々の様子を知り、子どもたちが社会への関わり方を深めることができるようにしていくことを活動のねらいとしている。

### 3 今年度の活動と、取組から得られる期待について

学校から最寄りの駅（JR 西日本姫新線「林野駅」）までスクールバスで移動する。最寄り駅に車で20分以上かかることから、公共交通機関に触れる機会が少ないことがわかる。林野駅から姫路駅まで移動する。姫新線は姫路駅まで乗り換えることなく行けるので、座っているだけで県外の大きな駅につけることは、利便性の良さとして知ってもらいたい。次に、4年生が興味津々だった新幹線を利用する。姫路駅から岡山駅まで移動する中で、移動速度の速さに注目してもらいたい。前年度調べた新幹線の速さを体感し、在来線で行くよりも速くつく利便性や、公共の場であることから乗り方のマナー、時刻を厳守しなければならないこと等、集団生活で身に付けねばならない事とも結びつけたいと考える。岡山駅から和気駅までは、JR 西日本山陽線を利用する。そして、和気駅からジャンボタクシーを利用し、小学校まで帰ってくる。自家用車を持っていることが当たり前の地域であるため、子どもがタクシーを利用する機会もほとんどない。タクシーの利便性としては、駅など所定の位置でなくてもどこでも呼べたり、降りたりすることができる。時間に捕らわれることもなく、比較的、利用者の都合よく利用することができる。

<予定ルート>					
バス	J R 在来線	J R 新幹線	J R 在来線	ジャンボタクシー	
学校	林野駅	姫路駅	岡山駅	和気駅	学校
8:45	9:08/10:20	12:05/12:52	13:12/14:12	14:42	15:30

これらの活動を通して、公共交通機関を利用する利点があり、多くの人に関わって公共の乗り物が運行されていることが分かるようにする。また、体験を通して学んだことを発表会や文章・絵等で表現する活動を通して、主体的な深い学びができ、社会への関わり方をより深めることができるようにしたい。